



中体連大会終わる

バレー、バスケット、野球、剣道の4種目で熱戦



去る六月二十三、二十四の二日間、玉名市を中心に中体連大会が実施されました。この日三加和中を代表してこの大会に出場したのは、4種目・二十四人でした。生徒数の減少により軒並み部員数も減っており、野球は菊水中と合同チームとして、剣道は通常の部活動がすでになので臨時エントリによる個人戦のみの出場となりました。

どの試合でも全力で対戦相手と正面から向き合い、最後まで諦めない試合を見せられました。残念ながら一勝の難しさを改めて感じる大会となりました。しかしながら、学校の部活動は勝つことを「目標」にしなから、ただそれだけを「目的」として実施している活動ではありません。勝つことを目標にきつい練習に取り組む中で、

健闘するも一勝は遠く



和水町立
三加和中学校
(和水町板橋
1001)
文責：益崎



健康な体や人間関係、また、生き方そのものを学ぶ大切な機会だと捉えています。中学校での部活動については、生徒の健全育成に資するところも大きいものがあります。今後とも保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

やっててよかった！

やっておけばよかったあ……

小中合同 緊急時引き渡し訓練

先日の引き渡し訓練は大変な荒候の中ご協力いただきありがとうございました。CMで「あつてはならぬが無くては困る」という名言があります。防災のための訓練もまさにそうです。緊急事態は本当に起こると思わないのが普通です。思っていないからこそ起こったときに緊急事態となるのです。

今回の訓練は、緊急時にどうやって子どもたちを保護者に引き渡すかの訓練でした。富山の交番で銃を奪った男が、近くの小学校に侵入するという事件が発生しました。その際のテレビ映像では、子どもたちを保護者の方へ引き渡している場面が流れていました。

本校では毎年複数回の防災に関する訓練を小学校と合同で実施しています。地域柄、三加和ではまだやっていませんが、今後は津波の訓練も必要ではないかと考えています。子どもたちが将来どんなところに住んでいても、自らの命を守ることができるよう、これからの防災教育に力を入れていかなくてはならないと考えています。

いざというときに「やっておけばよかった」とならないようにするのは当然ですが、かといって「やってよかった」と思う場面が来ないことを願うばかりです。

心がほっこり

先日校内人権集会をしました。各学年から一人ずつ、三人の生徒が意見発表してくれました。人の心の痛みに気づくことができなかった体験、何でも言い合えるクラスにした

い気持ち、そして大切な家族への思いについて、それぞれが自分の言葉で発表してくれました。それに対して、たくさんの生徒が返しの言葉を伝えてくれました。返しの言葉の中には、「自分も同じ失敗をした」「同じように自分もこれから

頑張っていきたい」など、発表者の背中を押してくれる温かい気持ちがあふれていました。特に「自分にとって大切な家族（友だち）に、いつも感謝している」という多くの声が聞かれ、しばしばほっこりとした気持ちになりました。



授業参観では会社ごとの事業計画を見ただけ、多くの

池田先生が
授業マイスターに

本校の池田先生が、理科の授業マイスターに認定されました。授業マイスターとはわかりやすい優れた授業を実践される先生のことで、県教育委員会が認定します。これからも、学校全体でわかりやすい授業づくりに努めます。